NEWSLETTER No.98 TOYO ONGAKU GAKKAI KAIHO

ISSN 1340-5578 The Society for Research in Asiatic Music

entember 15 2016

一般社団法人 **東洋音楽学会**



第**98**号

第 行 一般社団法人東洋音楽学会

事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152 ●E-mail: LEN03210@nifty.com ●ホームページ: http://tog.a.la9.jp

目	次
第5回定時社員総会のお知らせ1	ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ 4
総会への出席と「書面議決書」	IMS2017 東京大会のお知らせ ······ 5
または「委任状」提出のお願い1	東日本支部からのお知らせ 5
第 67 回大会のご案内	会員異動
第34回田邉尚雄賞アンケートのお願い3	図書・資料等の受贈6
会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせ3	新刊書籍
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ3	新発売視聴覚資料7
『東洋音楽研究』のインターネット公開について4	編集後記7

第5回定時社員総会のお知らせ

一般社団法人東洋音楽学会 正会員各位 一般社団法人東洋音楽学会 会長 塚原康子

第5回定時社員総会招集状

一般社団法人東洋音楽学会定款第16条及び第18条の定めに基づき、第5回定時社員総会を下記の通り開催いたしますので、正会員はご出席下さい。

記

日時 2016年11月5日(土)16時45分~17時30分場所 放送大学東京文京学習センター 多目的室講義室1 (地下1階)

審議事項

第1号議案 役員選任の件

第2号議案 2015年度事業報告の件 第3号議案 2015年度収支決算の件 第4号議案 2016年8月31日現在

貸借対照表および正味財産増減計算書の件

第5号議案 2016年8月31日現在 会員異動状況の件 第6号議案 その他

報告事項

- 1. 2016 年度事業計画の件
- 2. 2016 年度収支予算の件
- 3. その他
- ・上記以外に議案を提出なさりたい方は、あらかじめ事務局 にご連絡ください。
- ・総会に出席できない正会員の方は、「書面議決書」または「委任状」の提出をお願いしています。詳しくは、別項「総会への出席と書面議決書または委任状提出のお願い」をご熟読ください。

総会への出席と「書面議決書」または 「委任状」提出のお願い

正会員(社員)のみなさん、総会の成立には正会員(社員) の過半数の出席(議決権の行使)が必要です。 総会への出席(議決権の行使)は一般社団法人の正会員の権利であり、責務でもあります。総会にはぜひご出席ください。やむを得ず総会を欠席する場合には、下記のいずれかによって議決権を行使することができます。

①「書面議決書」の提出

書面議決書とは、議案への賛否をあらかじめ表明する文書です。議案書は、10 月上旬に学会のホームページに掲載されます。 担当理事から、10 月上旬に書面議決書を電子メールにて配信しますので、書面議決書によって議決書を行使する場合には、個々の議案への賛否を記入して議案書に記したメールアドレス宛に返信してください。配信先は、学会に届けてある(会員名簿に掲載の)アドレスです。変更した方は至急学会事務所まで新しいメールアドレスをお知らせください。

インターネットを使わない正会員には、10 月中旬までに 郵送で議案書をお届けしますので、それに同封する「書面議 決書」に賛否を記入して返送してください。

電子メールを使用するか、郵送を希望するかは、大会プログラムと一緒に届けられる「大会参加申込みハガキ」に希望を記入する欄がありますので、それにてお知らせください。

②「委任状」の提出

他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができます。委任する方は、「大会参加申込みハガキ」の委任状の欄を選択の上、代理人の氏名をご記入下さい。代理人は正会員のみが認められます。なお、空欄の場合は、会長に代理人の選任を一任したものとして扱います。

総会欠席の場合には「書面議決書」か「委任状」のいずれ かを提出ください。総会成立のためにご協力くださるようお 願いいたします。

第67回大会のご案内

東洋音楽学会第 67 回大会を、放送大学東京文京学習センターとお茶の水女子大学 (懇親会のみ) にて、同封のプログラムの通り開催いたします。多くの会員のご参加をお待ちしております。

第1日(11月5日)の午後は、学会創立80周年記念と、本学会に外から尽力をいただいた柴田南雄の生誕100周年記念とを組み合わせた企画として、公開講演会と、公開シンポジウムおよび演奏会を催します。公開講演会では、遠藤徹・田中多佳子両理事により、本学会の創立時からの資料(展示

予定)に基づいた歴史的な視点からの講演をしていただきます。公開シンポジウムでは徳丸吉彦・澤田篤子・永原恵三の三者により、本学会と柴田南雄とがどのような学術的な接点をもっていたのかを探ります。公開演奏会では柴田南雄が1973年の《追分節考》以来、日本の音楽にその作曲の基盤を強く持っていたことから、現代邦楽作品の《熊野へ参らむと》を米川敏子氏の筝で、そして合唱のシアター・ピース《遠野遠音》を永原恵三理事の指揮による混声合唱でお聴きいただきます。

第2日(11月6日)は、1日目の会場を分割して2会場として、研究発表とセッションを行ないます。最新の研究成果に基づく、大変内容の濃い議論が期待されます。

なお、大会の二日間ともに、会場のオープンスペースで、本学会 80 年の資料展示と柴田南雄の放送大学での映像を公開いたします。どうぞご覧ください。

◎ 出欠の回答

同封の返信ハガキの各欄にもれなくご記入の上、10月14 日(金)必着でご返送ください。やむを得ず社員総会に出席できない方は、返信ハガキの下欄の総会議案書に対する意思表示の方法(メールまたはハガキ)を選択記入してください。

○ 大会参加費、懇親会費、弁当代の納入

必ず同封の払込用紙にて、10月25日(火)までにご入金ください。この日までに納入された方には、大会参加費の事前申込(早割)が適用されます。これ以後に納入した場合は、当日申込の金額となります。払込の金額は次の通りです。

大会参加費

正会員 事前申込 2,500 円

当日申込 3,000 円 (10 月 26 日以降の振込、 当日受付での支払)

正会員のうち大学院生(修士課程・博士課程・研究生)

事前申込 1,000円

当日申込 1,500円

学生会員 事前申込 1,000円

当日申込 1,500円

非会員(第2日のみ) 資料代 1,000円

懇親会費

正会員 4,000 円

学生会員と正会員のうち大学院生 2,000円

弁当代 (第2日) 1,000円 (お茶付き)

(会報前号掲載額より80円引き)

- * 同封の払込用紙は大会専用です。学会費の納入にはご使用にならないようにお願いします。
- * 期日を過ぎて入金された方は、必ず受領証をご持参いただき、受付にてご提示ください。
- * 大会第2日のお弁当(お茶付き)は、期日までに返信ハガキにてご注文の上、払込用紙にて代金をお支払いいただいた方にのみ、ご用意いたします。予約のない方への販売はいたしませんので、あらかじめご了承ください。なお、会場近くの茗荷谷駅近辺には、コンビニやファミリーレストランなどもありますので、ご利用いただけます。
- * プログラムの再配布はいたしません。当日は同封のプログラムを忘れずにご持参ください。もし当日必要な場合は、500円で頒布いたします。

第34回田邉尚雄賞アンケートのお願い

第34回田邉尚雄賞選考委員会では、新刊情報を広く収集 しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、著 作物を出版される際は、選考委員会までお早めにお知らせく ださい。自薦のほか他薦も歓迎いたします。

選考対象: 2016 (平成28) 年1月1日~12月31日の発行物 受付期間: 随時。締切は2017 (平成29) 年2月上旬 (予定)。 記入事項: 著者名、書名、発行年月日、発行所名。なお、論文 の場合は、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数も記してくだ さい。推薦理由を簡潔にお書き添えいただいても構いません。

送付先: 東洋音楽学会 第 34 回田邉尚雄賞選考委員会 (郵送) 〒110-0005 東京都台東区上野 3 - 6 - 3

三春ビル 307 号

(FAX) 03-3832-5152

(電子メール) LEN03210@nifty.com

選考委員: 井上貴子、奥山けい子、吉川周平、中原ゆかり、 吉野雪子

会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせ

1. 会費納入のお願い

2015年9月から新しい年度が始まりました。会費未納の方は、金額をお確かめの上お払込くださいますよう、お願い申し上げます。振り込み用紙を紛失された場合は、下記学会口座宛にお振込ください。なお、本会報と入れ違いに納入された場合はどうぞご容赦ください。

正会員:8,000円

学生会員(大学院生を除く)、および割引申請者:6,000円

○郵便局からの払込

ゆうちょ銀行 [口座番号] 00160-6-55723

[加入者名] 一般社団法人東洋音楽学会

○他金融機関からの振込

ゆうちょ銀行 [支店名] ○一九(ゼロイチキュウ)店 (019) 「当座] 0055723

2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。学会のホームページ(http://tog.a.la9.jp/about.html#7)でご確認の上、お申し込みください。

3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利(研究会・大会での発表、 学会の発行物の受取)が行使できないことがありますのでご 注意ください。

4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員にも、新年度の会費納入義務が 発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その 旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第82号 (2017年8月刊行予 定)の原稿を募集いたします。

投稿を希望される方は、本誌最新号 (81号) に掲載予定の「投稿規定」および学会ホームページ掲載の「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください。「投稿規定」は、機関誌編集委員会において改訂を行うことがあります。必ず最新号でご確認ください。近年、分量の限度が守られていない投稿が多く見受けられます。ご注意ください。

送付先:〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3三春ビル307号 一般社団法人 東洋音楽学会 事務局内 東洋音楽学会機関誌編集委員会

なお、封筒の表に「機関誌投稿原稿在中」と明記してください。

送付方法:プリントアウトした原稿を郵送すること。

ただし、書留郵便にはしないこと。直接持参、

メール添付は受け付けません。

締め切り:2016年12月8日(木)必着

『東洋音楽研究』のインターネット公開について

- 1)機関誌『東洋音楽研究』の、創刊号から 73 号までの論文、研究ノート、書評、視聴覚資料評等は、インターネット上(「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE))で公開されています。現在、74 号以降の号についても、インターネット公開を予定していますが、J-STAGE による「電子アーカイブ事業」は、現在終了しており、平成 29 年度以降に、再申込をする必要があります。それまでは、74 号以降の公開作業は見合わせざるを得ないことが、判明しました。
- 2) 実現は先のことになるかもしれませんが、74 号以降の機関誌がインターネット公開されるという方向性に、変わりはありません。ですので、これまで同様、論文等著作の中に写真、図像、楽譜等を使用する場合、ネット公開を念頭においた掲載許可を、著者の責任において取得していただくよう、お願いいたします。
- 3) 74 号、75 号、76 号掲載の論文、 研究ノート、書評、 視聴覚資料評の著者で、写真等の許諾が得られず、インター ネット公開を差し控える必要がある場合は、11 月末日までに、 本部宛に、メールと文書にてお申し出ください。お申し出な き場合、論文等は、将来、そのままインターネット上に公開 されます。

ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ

1. ICTM 会報について

現在、ICTM の会報 (Bulletin of the ICTM) は、完全に オンライン化されています。以下 URL から最新版 (Vol. 131, April 2016) をダウンロードできます。

http://www.ictmusic.org/publications/bulletin-ictm

また、1948 年 10 月発行の創刊号 (当時は、*Bulletin of the IFMC*) から最新号まで、以下 URL より閲覧・ダウンロードできます。

http://www.ictmusic.org/publications/bulletin-ictm/past-iss

会報は年二回(4月と10月)に発行されます。世界大会 やスタデイ・グループの情報に加え、各国委員会からの報告 も掲載されます。日本からの報告として掲載したい事柄がありましたら、担当委員までお送りください (minako.waseda@gmail.com)。日本語でも結構です。ただし、今年、会報についてのガイドラインが改訂され、各国委員会からの報告は、少なくとも3年に一回、多くても1年に一回までとなりました。日本国内委員会では、毎年4月の会報で小泉文夫賞受賞者を報告しています。そのため、次回の日本からの報告掲載は、2017年4月号(原稿の締切は3月半ば)となります。ご了承ください。なお、イベントのお知らせや発表募集等については、各国からの報告(Reports)とは別に、お知らせ(Announcements)の欄が設けられていますので、前述の投稿制限は適用されません。4月の会報に掲載する原稿は3月初旬まで、10月の会報に掲載する原稿は9月初旬までに担当委員までお送りください。

2. 第44回 ICTM 世界大会(於:アイルランド)のお知らせ

日時: 2017年7月13日~19日

場所: Irish World Academy of Music and Dance, Limerick (アイルランド、リムリック)

2017 年は ICTM の創立 70 周年に当たります。1947 年に International Folk Music Council (IFMC)として組織された当学会は、のちに International Council for Traditional Music (ICTM)と改称し、今日まで学術団体として、またユネスコの諮問機関として活動を展開してきました。70 周年を記念する次会の世界大会では以下が学会テーマとして掲げられています。

- 1. 70 Years of ICTM: Past, Present and Future
- 2. Legacy and Imagination in Music and Dance
- 3. Ethnomusicology, Ethnochoreology and Digital Humanities
- 4. Exploring Music Analysis and Movement Analysis in Ethnomusicology and Ethnochoreology
- Music, Dance, Religious Politics and Religious Policies
- 6. New Research on Other Topics

発表形式は、1)個人発表、2)パネル、3)フィルム/ビデオ・セッション、4)フォーラム/ラウンドテーブルの4種類です。

発表申込み締切:2016年9月30日 発表可否の通知:2016年12月 発表申し込みは ICTM のホームページよりオンラインで 行います。詳しくは、ホームページ内の世界大会のお知らせ のページをご覧ください。

(http://www.ictmusic.org/ictm2017)

3. 音楽とマイノリティ研究グループの活動について

ICTM 音楽とマイノリティ (Music and Minorities) 研究 グループは、2016年7月4日~8日の5日間、フランスのレンヌ第二大学 (Université Rennes 2 Haute Bretagne) において研究発表会を開催しました。実行委員長は研究グループの代表ウルスラ・ヘムテック氏(オーストリア)で、現地実行委員代表はイヴ・デフランス氏(フランス)でした。開催地のフランスの他、韓国、ニュージーランド、オーストリア、ノルウェー、フィンランド、スリランカ等から研究者が集まり、日本からの参加者は2名で、11のセッション(研究発表26本)の他、ブルターニュ舞踊のワークショップ、エクスカーション、ビジネス・ミーティングなどが行われ、活発な議論が行われました。なお研究グループではこの研究会での成果を書籍として刊行する予定です。 (報告:増野亜子)

IMS2017 東京大会のお知らせ

IMS 2017 東京大会 「音楽学: 東西の理論と実践」が、2017 年3月19日(日)~23日(木)、東京藝術大学上野校地を会場に開催されます。

300 件以上の研究発表、23 件のラウンドテーブル、10 件のスタディセッションが企画されています。現代の音楽学のあらゆる領域の研究テーマが含まれ、非常に充実した内容が期待されます。発表内容の詳細、および発表要旨はホームページにアップされています。関連するコンサート、展示、アフター・コングレス・プログラム等も数多く企画されています。研究発表は主に英語で行われます。大会にはどなたでも参加できます。

参加登録は9月1日から開始されています(早期書房)は12月19日まで)。どうぞ奮ってご参加ください。詳しくは大会ホームページ http://ims2017-tokyo.org/ をご覧ください。

東日本支部からのお知らせ

◇ 定例研究会発表募集(12月例会)

2016 年 12 月 17 日 (於:大正大学) の定例研究会における研究発表のご希望が目下1件のため、追加募集をいたします。発表を希望される方は、発表種別 (研究発表・報告等)、発表題目、要旨 (800 字以内)、氏名、所属機関、連絡先 (住

所、電話、Fax、E-mail) を明記の上、<u>9月25日までに</u>東日本支部事務局あて、お申し込みください。

なお、発表希望を提出後1週間経ても東日本支部事務局から連絡がない場合には、メール事故等の可能性がありますので、お手数ですが再度ご連絡ください。

◇「会員の声」投稿募集

東日本支部発行『東日本支部だより』には、会員の皆様からの情報を掲載する「会員の声」欄を設けています。研究会、講演会、展示会など、会員の活動に関連する情報がありましたら、東日本支部事務局あて、お知らせください。投稿方法などの詳細は、『東日本支部だより』の最終ページをご覧ください。

[東日本支部事務局]

〒110-0005 東京都台東区上野 3-6-3 三春ビル 307 号 東洋音楽学会東日本支部事務局

E-mail: tog.higashi@gmail.com

会員異動

会員異動は個人情報保護のため削除しました。

- ◆住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡ください。 (機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用はがき、またはファクス、E-mail等でも結構です)
- ◆改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添えください。(複数表記される場合、どちらを主な表記にするのか等)
- ◆事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等がある 場合には、その旨ご明記ください。

図書・資料等の受贈

(2016年5月~7月、到着順)

 『民俗芸能研究』第60号
 民俗芸能学会

 『楽道』4,5,6,7月号
 (公財) 正派邦楽会

 『日本音楽史料叢刊1 陽明文庫蔵 舞絵〔舞楽散楽図〕

法隆寺旧蔵 措鼓』

上野学園大学日本音楽史研究所編 思文閣出版

『能楽資料センター紀要』No.27

武蔵野大学能楽資料センター

『桝源次郎の民族音楽研究活動の再評価: インド及び台湾 民族音楽研究の視点を手掛かりに』

科学研究費補助金研究成果報告書研究代表者 劉麟玉(奈良教育大学)

『アフリカ音楽の正体』 塚田健一 音楽之友社 『阪大音楽学報特別号 2016』 Postgraduate Students Joint Forum of "Musicology in the Multicultural Society"

大阪大学音楽学研究室

雅樂協議会

『世阿弥を学び、世阿弥に学ぶ』

『雅楽だより』第46号

子い、回門がに子ぶ』 大槻文蔵監修、天野文雄編集 大阪大学出版会

新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

『アフリカ音楽の正体』 塚田健一、音楽之友社、2,400円

『インド鍵盤楽器考 ハルモニウムと電子キーボードの 普及にみる楽器のグローカル化とローカル文化の再編』 岡田恵美、渓水社、5.600 円

『ウィーン・フィルとともに 45 年間

――名コンサートマスター、キュッヒルの音楽手帳』 ライナー・キュッヒル、野村三郎、音楽之友社、1,500円 『(新編) ウィーン・フィル&ベルリン・フィル

――世界に君臨する二大オーケストラを徹底解剖

(ONTOMO MOOK)』 音楽の友編、音楽之友社、1,700 円

『A.E. あるいは希望をうたうこと

新実徳英の「音・人・出会い」

新実徳英、アルテスパブリッシング、2,200円

『エッセンシャル・ディクショナリー

楽器の音域・音質・奏法』

トム・ゲルー、デイヴ・ブラック、八木澤教司監修、 元井夏彦訳、ヤマハ、1,100円

『折口信夫芸能史講義(戦後篇下) 池田彌三郎ノート』 折口信夫、池田彌三郎筆記、

慶應義塾大学出版会、6,500円

『音楽からインド社会を知る 弟子と調査者のはざま (フィールドワーク選書)』寺田吉孝、臨川書店、2,000円

『音楽を学ぶということ――これから音楽を教える・

学ぶ人のために』 志民一成・他編集、教育芸術社、 1,800円

『声の科学――歌う医師があなたの声をデザインする』 斉田晴仁、音楽之友社、3,500円

『古楽でめぐる ヨーロッパの古都』

渡邊温子、アルテスパブリッシング、2,200円 『『隋書』音楽志訳注』 六朝楽府の会、和泉書院、10,000円 『西洋音楽史再入門 4つの視点で読み解く音楽と社会』 村田千尋、春秋社、2,900円

『世阿弥を学び、世阿弥に学ぶ』大槻文蔵監修、天野文雄編集、 鈴木忠志・他、大阪大学出版会、2,300円

『黄昏の調べ 現代音楽の行方』

大久保賢、春秋社、2,700円

『闘うピアニスト パデレフスキ自伝 (上巻)』 イグナツィ・ヤン・パデレフスキ、メアリー・ロートン、

湯浅玲子訳、ハンナ、1,900円

『闘うピアニスト パデレフスキ自伝 (下巻)』 イグナツィ・ヤン・パデレフスキ、メアリー・ロートン、

『中世京都と祇園祭 疫神と都市の生活』

脇田晴子、吉川弘文館、2,200円

湯浅玲子訳、ハンナ、1,500円

『津川主一の生涯と業績 神と人と音楽とに仕えて』

丸山忠璋、スタイルノート、3,000円

『ナチュール 自然と音楽』 エマニュエル・レベル、 西原久美子訳、アルテスパブリッシング、1,800円

『鳴らすカ 聴くカ――二人が語るこだわりの音楽再生術 (ONTOMO MOOK)』 貝山知弘、青澤唯夫、Stereo 編、音楽之友社、1,700円

『日本音楽史料叢刊 1 陽明文庫蔵 舞絵〔舞楽散楽図〕 法隆寺旧蔵 揩鼓』 上野学園大学日本音楽史研究所編、 思文閣出版、2,700 円 『パイドパイパー・デイズ 私的音楽回想録 1972-1989』長門芳郎、リットーミュージック、2,400 円

『パスカル・ドゥヴァイヨンとめぐるドビュッシーの島々』 パスカル・ドゥヴァイヨン、村田理夏子訳、

音楽之友社、1,800円

『100 語でたのしむオペラ』 フィリップ・ジョルダン、 エマニュエル・ジョス執筆協力、武藤剛史・他訳、 白水社 (文庫クセジュ)、1,200 円

『フィリップ・グラス自伝~音楽のない言葉~』

フィリップ・グラス、高橋智子監訳、ヤマハミュージックメディア、4,300円

『マイケル・ジャクソンの思想』

安冨歩、アルテスパブリッシング、1,600 円 『マス・メディア時代のポピュラー音楽を読み解く

流行現象からの脱却』 東谷護、勁草書房、2,800 円 『ミュージックスとの付き合い方 民族音楽学の拡がり (放送大学叢書)』 徳丸吉彦、左右社、2,100 円 『名器から生まれた名曲3

リストとベーゼンドルファー・ピアノ』

久元祐子、学研プラス、1,500円

『名曲の真相 管楽器で読み解く音楽の素顔』

佐伯茂樹、アカデミア・ミュージック、1,800 円 『明治のワーグナー・ブーム 近代日本の音楽移転 (中公叢書)』 竹中亨、中央公論新社、2,300 円

『モーツァルト――演奏法と解釈(新版)』

エファ・バドゥーラ=スコダ、パウル・バドゥーラ=スコダ、 今井顕監訳、音楽之友社、7,300円

『ラフマニノフ――生涯、作品、録音』

マックス・ハリソン、森松皓子訳、音楽之友社、4,350円 『リュック・フェラーリ センチメンタル・テールズ あるいは自伝としての芸術』 リュック・フェラーリ、 椎名亮輔訳、アルテスパブリッシング、2,700円

新発売視聴覚資料

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

$lue{CD}$

『烏城/砂崎知子箏作品集(2)』

砂崎知子、VZCG-804、2,500円

『河内家菊水丸/河内音頭秘蔵コレクション (9)』

河内家菊水丸、COCJ-39580、1,944 円

『KING OF ONDO~東京音頭でお国巡り~』

音源監修/保利透、監修·解説/大石始、 VICL-64607、2,500 円 『吟詠の友(32) 平成27年度日本コロムビア吟詠コンクール優秀者~模範吟・伴奏付』

尺八/磯牧山、筝/高橋はるな(1~20)、国重歌純(21~26)、 (琵琶入り)(21)、COCJ-39579、2,389円

『虚無僧尺八の世界 京都の尺八 II 明暗真法流 鶴の巣籠 (2枚組)』 中村明一、VZCG-8570~8571、5,000円 『芝祐靖の音楽 オーケストラ作品集 幻遙 (げんよう)』 オーケストラ・アンサンブル金沢(指揮/十束尚宏)、

VZCG-806、3,000円

『箏曲名作選(十三)松本雅夫』

正派邦楽会、VZCG-807、3,000円

『箏 古典/現代名曲集(27)』

正派邦楽会、VZCG-808、3,000円

『総振付/民踊舞踊愛曲集』

振付・監修/中山流家元 中山義夫、COCF-17202、1,389円 『中島勝祐創作賞 第五回 若獅子 I 』

若獅子会/中島勝祐、VZCG-809、3,000円

『光の中で/砂崎知子箏作品集(1)』

砂崎知子、VZCG-803、2.500円

『富士讃歌/砂崎知子箏作品集(3)』

砂崎知子、VZCG-805、2,500円

『ふる里の民踊 第56集』

公益社団法人 日本フォークダンス連盟監修、 COCJ-39562、3,000 円

編集後記

東洋音楽学会会報第98号をお届けします。今号は第67回 大会のお知らせとともに、本学会の総会(定時社員総会)の 議案と、それに対する会員の議決方法のご案内があります。 会員の皆様におかれましては、熟読されてご判断をいただき ますよう、お願いいたします。また、関連学会である、ICTM の大会(アイルランド)と IMS の大会(東京)とのご案内 も掲載しております。今後も、会員の皆様の活動に役立つ情 報を提供してまいりますので、会報をご活用くださいますよ うお願いいたします。

永原恵三

会報編集委員会

理事:永原惠三、增野亜子

委員:井上登喜子

参事:大久保真利子、角優希、松本民菜、安原道子、

横山洸、渡邊佐恵子